

補正予算、10億8622万円追加

12月議会は4日からスタート

12月定例市議会が4日から始まり、18日まで行われます。今定例会には、一般会計補正予算や国民健康保険特別会計補正予算など29件の議案が提案されます。

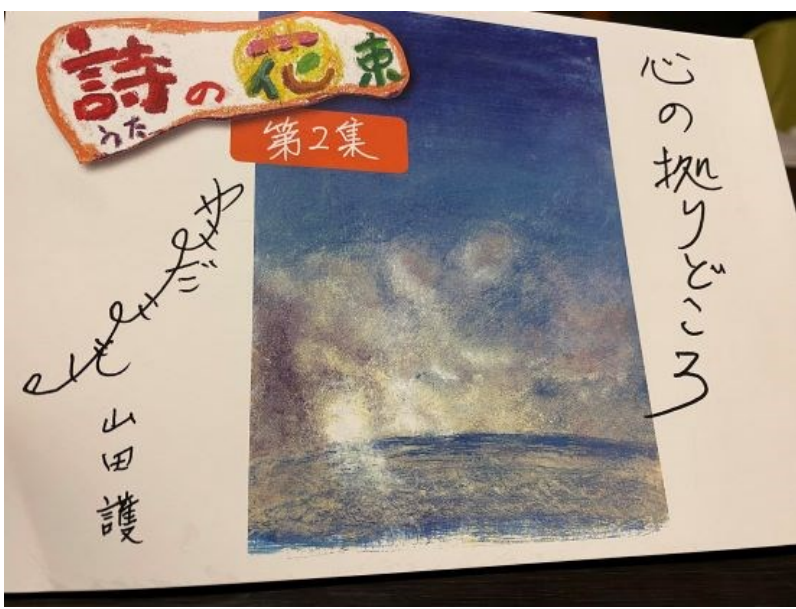
このうち一般会計補正予算は、歳入歳出予算総額に10億8,622万円を追加し、予算規模を1,081億1,554万円とするものです。

主な歳出は、令和7年に高田城址公園観桜会及び謙信公祭がそれぞれ第100回の節目を迎えることから、各種記念事業の準備経費を増額するほか、市立小学校の工しベーター設置等の改修に要する経費及び、名立区、安塚区における地す

べり災害の復旧経費等を増額するものです。

今定例会では異常な物価高や自然災害対策、原発事故と避難計画、「103万円の壁」問題への対応などの議論が求められています。私は16日に一般質問に立つ予定です。

議会の審議日程は以下の通りです。4日が本会議、5日は文教経済委員会、6日は厚生委員会、9日は農政建設委員会、10日は総務委員会、11日から16日まで一般質問、18日は本会議。いずれも午前10時開会です。ぜひ傍聴にお出かけください。



大潟区の山田護さん「詩の花束」第2集を発刊

昨年の8月、40年余りにわたってノートに書き溜めてきた詩をたばねて「詩の花束」という冊子を発行した大潟区潟田の山田護さん。まだ1年ちょっとしかたっていないのに、その後の詩をまとめ、「詩の花束」第2集をこのほど発行しました。

「人生これからさ」「手を取り合って」などの詩はもちろんのこと、山田さんが撮影した風景写真、コンサートなどの写真も私は気に入っています。素敵な詩集ができました。詩作活動を全開した山田さんに拍手です！第2集をご希望の方はお知らせください。



大潟区の鵜ノ池上空を飛ぶコウノトリの夫婦。11月24日、撮影しました。



「農業・農村と平和」をテーマにした上越★農業映画祭が24日、高田世界館で開催されました。

私は都合で、農家ミュージシャンのコンサートだけを観させていただきました。ギター演奏の山岸協慈さん、「日本一の米」を歌った平澤栄一さん、素敵でした。イラストはお二人です。中山間地で頑張る人たちの農業への思いも聴けました。



【オヤマボクチ】（再掲）キク科の多年草。漢字で「雄山火口」と書きます。別名は「ヤマゴボウ」。葉をソバのツナギとして使っている人も結構います。花は9月～11月。暗い紫色の花を下向きに咲かせます。花言葉は「たくましい」。17日、吉川区代石にて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2182 2024.12.1

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八二九回 届いた冊子は…

こういうこともあるんですね。発刊されてから七年経った冊子がめぐりめぐって先週の火曜日、私の手元に届きました。

冊子は全部で二四ページ。タイトルは『秀雄の絵手紙』。絵手紙が五五枚入っています。表紙には私の大好きなひまわりの絵が真ん中にどんと描かれていて、ハガキの白地のスペースには、「命あるものに乾杯」「だから平和を」という言葉が添えられていました。

この冊子の絵手紙の描き手は、「しんぶん赤旗日曜版」編集部で仕事をされていた手崎秀雄さん（故人）です。二〇一三年に手崎さんが亡くなって四年後、孫の碧（みどり）さんが「段ボールにあふれる絵手紙」の中から五五枚を選んで冊子にまとめました。

冊子を手にして私がまず読んだのは、手崎さんのお連れ合いの久實子さんが書かれた「前書き」です。そこには、秀雄さんが十七歳の時に志願して通信兵となったこと、猛爆を受け、秀雄さんは運よく生きていたものの、同い年の親友が亡くなったことなどが綴られ、秀雄さんの「絵と紡ぐ言葉には戦争への反省と命の尊さが込められている」とありました。とても印象に残る言葉でした。

そしてもう一つ、「これはすごい」と思ったのは次の文章です。「彼は生涯多忙でした。絵はハガキ大で一分以内を描くと決めていました。感動するものに出会うと、何処でも立ち止まって描いていました」。このなかでも「一分以内」に描くことに惹かれました。私もそれくらいのスピードで描ければなあ……。うらやましい。

絵手紙のトップはツクシでした。三本のツクシがハガキの上下いっぱい描かれ、「どんどん伸びる春 命がそこにあるから」という言葉が書いてありました。「伸びる春」という表現がとっても素敵でした。

次いで目にとまったものは柏餅の絵手紙です。左下から右上に大きく柏餅が描いてあって、「葉っぱがだきしめる春の味」「人の温もりも」とありました。「春の味」にはどんなものが入っていたのでしょうか。

絵手紙には人柄も出ます。緑の枝豆が描かれた絵手紙を見て笑ってしまいました。茎が付いたもの二個、すでに茎から離れたものが二個描かれ、「マメに暮らすのがいい 一粒々々味をかみしめて 集うて食べたらもっとうまい」と親父ギャグを飛ばし、一番上には「ビールはどこ？」と書いてあったのです。きっと生前は職場でもこんな調子だったでしょう。

この冊子を息子さん夫婦を通じて私にくださったのは糸魚川市在住の山岸朝子さんです。七月下旬に私が取り組んだ「小さな作品展」にわざわざ出かけてくださったのですが、私への手紙では「作品展のお礼」とありました。朝子さんは久實子さんのことをよくご存じで、久實子さんと私とも書いてありました。どうあれ、このような立派な冊子をプレゼントしてくださると思っても見ませんでした。

じつは、朝子さん自身も野菜などの素敵な絵を描いておられます。一時期、息子さん夫婦がやっているトマトなどの農産物直売所の壁には、トマトやピーマンなどの野菜が踊るような雰囲気描かれた大きな紙が貼ってありました。それはまさにジャンボ絵手紙といった感じでした。朝子さんがこの絵手紙集を私にくださった本当の理由は、私の画力の向上につながるかと判断してくださったのかも知れません。

私に届いた一冊の絵手紙集、すぐに全部を観ました。色の濃淡、線の太さと強弱など勉強になることがいくつも……。私に新しいエネルギーが注入された感じです。

「あの頃の青春コンサート」に約500人

恒例となった「あの頃の青春コンサート」が24日、オーレンプラザにて開催されました。数十年前に青春時代を過ごした人たちを中心に約500人が「二中フレンズ」、「クレア」



「吟遊詩人」など12ユニットの演奏を楽しみました。みなさん、お上手ですね。

イラストは「吟遊詩人」の「学生

街の喫茶店」の演奏です。会場では、柿崎区の女性から「活動レポート楽しみです」と声をかけていただきました。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月20日(水)	11月27日(水)
上越消防署	0.050	0.053
上越南消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.047	0.053
頸南消防署	0.063	0.067
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.053	0.060
高士分遣所	0.053	0.057

奥田宏美押し花教室の作品展、盛況



吉川コミプラにて開催された「奥田押し花教室」作品展、今年も盛況でした。

押し花といっても作品での表現方法は様々、ドキッとさせるほど美しい花もありました。

イラストは作品についての感想を出し合い、鑑賞している風景です。